

# 平成28年度全国中学校体育大会 第47回 全国中学校柔道大会要項

- 1 目 的 この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広く柔道実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦をはかるものである。
- 2 主 催 (公財)日本中学校体育連盟 (公財)全日本柔道連盟 新潟県教育委員会 上越市教育委員会
- 3 主 管 北信越中学校体育連盟 新潟県中学校体育連盟 新潟県柔道連盟 上越地区中学校体育連盟
- 4 後 援 スポーツ庁 全日本中学校長会 全国都道府県教育長協議会 全国市町村教育委員会連合会 (公社)日本PTA全国協議会 日本私立中学校高等学校連合会 NHK 全国新聞社事業協議会 朝日新聞社 毎日新聞社 (公財)講道館 北信越柔道連盟 新潟県上越市 新潟県中学校長会 (公財)新潟県体育協会 (一財)上越市体育協会 新潟日報社
- 5 会 期 平成28年 8月17日(水)～20日(土)
- |        |       |               |
|--------|-------|---------------|
| 17日(水) | 開会式   | 12:00～12:30   |
|        | 女子団体戦 | 13:00～        |
| 18日(木) | 男子団体戦 | 9:00～         |
| 19日(金) | 女子個人戦 | 9:00～         |
| 20日(土) | 男子個人戦 | 8:30～         |
|        | 閉会式   | 16:30～17:00予定 |

場所 日	リージョンプラザ上越 競 技	上越市教育プラザ体育館 計量及び柔道衣点検	大会会場入口 受 付						
16日 (火)		【女子団体戦出場者】 14:00～14:50 非公式計量 15:00～16:00 公式計量・柔道衣点検	9:00～12:00 運営役員 12:00～13:00 来賓・役員 都道府県委員長 12:00～16:00 選手・監督						
17日 (水)	8:00 開 場 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>10:00～10:30</td> <td>審判会議</td> <td>「2Fコンサートホール」</td> </tr> <tr> <td>10:50～11:20</td> <td>監督会議</td> <td>「2Fコンサートホール」</td> </tr> </table> 12:00～12:30 開 会 式 <b>13:00～17:00【女子団体戦】</b> 17:10～17:25 女子団体戦表彰式	10:00～10:30	審判会議	「2Fコンサートホール」	10:50～11:20	監督会議	「2Fコンサートホール」	【男子団体戦出場者】 14:00～14:50 非公式計量 15:00～16:00 公式計量・柔道衣点検	8:20～ 来賓・役員 9:00～15:00 選手・監督  ※開会式参加者 式典要項参照
10:00～10:30	審判会議	「2Fコンサートホール」							
10:50～11:20	監督会議	「2Fコンサートホール」							
18日 (木)	7:50 開 場 8:30～8:50 審判打合せ <b>9:00～16:00【男子団体戦】</b> 16:10～16:25 男子団体戦表彰式	【女子個人戦出場者】 ◇40・44・48・52kg級 8:30～9:15 非公式計量 9:15～10:15 公式計量・柔道衣検査 ◇57・63・70・70kg超級 10:30～11:15 非公式計量 11:15～12:15 公式計量・柔道衣検査	8:00～ 来賓・役員 9:00～15:00 選手・監督						
19日 (金)	7:50 開 場 8:30～8:50 審判打合せ <b>9:00～16:55【女子個人戦】</b> 17:05～17:20 女子個人戦表彰式	【男子個人戦出場者】 ◇50・55・60・66kg級 8:30～9:15 非公式計量 9:15～10:15 公式計量・柔道衣検査 ◇73・81・90・90kg超級 10:30～11:15 非公式計量 11:15～12:15 公式計量・柔道衣検査	8:00～ 来賓・役員 9:00～15:00 選手・監督						
20日 (土)	7:20 開 場 8:00～8:20 審判打合せ <b>8:30～16:25【男子個人戦】</b> 16:35～16:55 男子個人戦表彰式 ／閉会式		7:40～ 来賓・役員						

6 会 場 『リージョンプラザ上越』 〒942-0063 新潟県上越市下門前446-2  
TEL : 025-544-2122 FAX : 025-544-0441

- 7 参加資格
- (1) 参加者は、各都道府県中学校体育連盟加盟の中学校に在籍し、校長及び都道府県中学校体育連盟会長が参加を認めた1校単位で編成されたチーム及び個人とする。
  - (2) 年齢は、平成13年(2001年)4月2日以降に生まれた生徒に限る。
  - (3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、平成28年6月30日までに各都道府県中学校体育連盟を通して、(公財)日本中学校体育連盟に申し出ること。
  - (4) 開催地は団体男女各2チーム・個人男女各階級2名の参加を認める。
  - (5) 夏季大会に限り、同一年度内の参加は全競技を通じて、1人1回とする。
  - (6) 参加資格の特例は次の通りとする。
    - ①学校教育法134条の各種学校(1条校以外)に在籍し、各都道府県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
    - ②参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
      - ア 全国大会の参加を認める条件
        - (ア) (公財)日本中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
        - (イ) 生徒の年齢及び修業年限が、我国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
        - (ウ) 参加を希望する学校においては、運動部活動が教育活動の一環として、日常継続的に当該校顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。
      - イ 全国大会に参加した場合に守るべき条件
        - (ア) 全国大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
        - (イ) 全国大会参加に際しては、責任ある当該校校長または教員が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
        - (ウ) 大会開催に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。
  - (7) 個人情報の取扱い(利用目的)  
大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、(公財)日本中学校体育連盟「個人情報保護方針・規程」に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。また、取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表・記録発表(記録集)等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。大会に参加する各選手はこれに同意する。

8 参加料 参加選手1人につき、3,000円とする。

- 9 引率・監督
- (1) 参加生徒の引率・監督は、出場校の校長・教員(非常勤講師は除く)であること。
  - (2) 大会では外部指導者(コーチ)をおくことができる。外部指導者(コーチ)は、出場校の校長が認めた者とし、所定の「外部指導者(コーチ)確認書」に必要事項を記入し、大会事務局に参加申込時に提出すること。ただし、当該校以外の中学校教職員は外部指導者(コーチ)にはなれない。また、同一人が複数校の外部指導者(コーチ)にはなれない。コーチとは当該校の監督でない教職員〔内部コーチ=指導者〕・それ以外〔外部コーチ=指導者〕とする。日本中体連では「外部指導者(コーチ)」と定義づけている。1校につき1名を認めるので、所定の用紙を用いて届け出ること。【様式6】  
外部指導者(コーチ)の条件とは次の通りである。
    - ①当該校の校長が認めた者。
    - ②年間を通じ、日頃から学校の部活動を指導している者。
    - ③中体連の大会運営に関して、理解を示し、協力的な者。
    - ④中学校の教職員でない者。
    - ⑤審判員に準じた服装をすること。※大会運営上、支障をきたすと大会本部が判断した場合は、会場より退場させることもある。
  - (3) 審判員に準じた服装をすること。
  - (4) 引率者の特例  
全国中学校体育大会の個人競技への参加について、校長・教員が引率できず校長がやむを得ないと判断した場合に限り、「全国中学校体育大会引率細則」により、校長が引率者として承認した外部指導者(コーチ)の引率を認める。  
(別紙「全国中学校体育大会引率細則」参照)

10 参加数 (1) 団体戦は、各都道府県1チーム、開催地1チームの合計48チームとする。

北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	開催地	合計
1	6	8	5	4	6	5	4	8	1	48

- ①団体戦のチームは、1校単位で編成したチームとする。
- ②男子チームの人員は、監督1名・コーチ1名・選手7名以内とする。
- ③女子チームの人員は、監督1名・コーチ1名・選手4名以内とする。

(2) 個人戦は男子8階級・女子8階級で、各階級とも各都道府県1名・開催地1名で、各階級合計48名とする。

- ①選手には、監督・コーチどちらか1名が付き添うこと。
- ②体重区分は次の通りとする。

ア 男子	50 kg級 (50 kg以下)	55 kg級 (50 kg超～55 kg以下)
	60 kg級 (55 kg超～60 kg以下)	66 kg級 (60 kg超～66 kg以下)
	73 kg級 (66 kg超～73 kg以下)	81 kg級 (73 kg超～81 kg以下)
	90 kg級 (81 kg超～90 kg以下)	90 kg超級 (90 kg超)
イ 女子	40 kg級 (40 kg以下)	44 kg級 (40 kg超～44 kg以下)
	48 kg級 (44 kg超～48 kg以下)	52 kg級 (48 kg超～52 kg以下)
	57 kg級 (52 kg超～57 kg以下)	63 kg級 (57 kg超～63 kg以下)
	70 kg級 (63 kg超～70 kg以下)	70 kg超級 (70 kg超)

- 11 競技規則 (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2014年施行のルール)及び国内における「少年大会特別規定」による。
- (2) 柔道衣は白色とし、女子の黒帯は白線入りとする。
- (3) (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。

- 12 競技方法 (1) 団体戦
- ①男女とも、参加48チームを3チームずつ16組に分け、各組でリーグ方式を行い、各組の1位16チームによって決勝トーナメント方式を行う。
  - ②男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。
  - ③チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。  
※選手変更は、基本的に前試合開始までに所定の場所にて受け付ける。
  - ④試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
  - ⑤優勢勝ちの判定基準は、「有効」以上または「僅差(『指導』の差2以上)」とする。
  - ⑥優劣の成り立ちは以下の通りとする。

「一本」＝「反則勝ち」>「技あり」>「有効」>「僅差」

- ⑦リーグ方式では、チーム間の内容が同等の場合は引き分けとする。また、リーグ方式の順位は次の方法によって決定する。
  - ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
  - イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。
  - ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
  - エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
  - オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
  - カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する。(3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う)
- ⑧トーナメント方式の勝敗は、次の方法によって決定する。
  - ア チーム間における勝ち数による。
  - イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
  - ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。
- ⑨代表戦は任意の選手とし、判定基準は個人戦と同様とする。3分間の本戦を行い、得

点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。

(2) 個人戦

- ①男女とも、各階級48名までによるトーナメント方式で行う。
- ②試合時間は3分間とし、延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
- ③優勢勝ちの判定基準は、「有効」または「指導」の差1以上とする。得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。

13 計量  
柔道衣点検

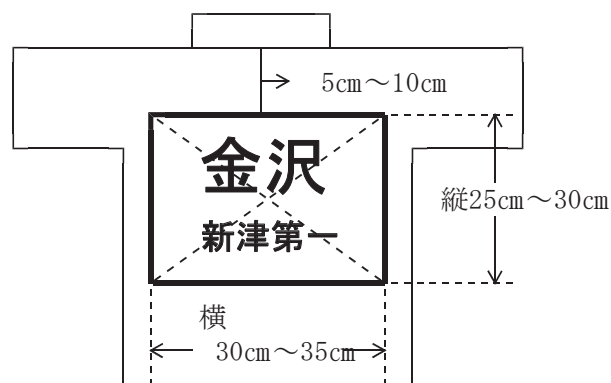
(1) 【計量】

- ①公式計量の前に非公式計量（仮計量）を行うことを認める。
- ②非公式計量では、指定時間内に自由に体重を測定することができる。
- ③公式計量は指定された時間内に1回とし、再計量は一切認めない。
- ④公式計量の服装は、男子は下穿き、女子はTシャツと下穿きの着用を認める。なお、下着の着用は認めるが、包帯・サポーター等の着用は一切認めない。
  - ア 団体戦 ○チーム毎に登録選手全員が測定を行うこと。  
○公式計量には監督が立ち会うこと。  
○順番の入れ替え等があった場合は通知する。
  - イ 個人戦 ○定められた階級の体重区分内にない者は失格とする。  
○監督は計量場所には入れない。（指定場所にて待機すること）  
※別室計量が必要な者は、あらかじめ申し出ること。

(2) 【柔道衣点検】

- ①公式計量に引き続き、柔道衣点検を行う。
- ②(公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。
- ③柔道衣に必ずゼッケン（学校名・名字入り）を縫い付けて出場すること。
  - ア 布地は白（晒、太綾）とする。
  - イ サイズは横30～35cm、縦25～30cmとする。
  - ウ 名字（姓）は上側2／3、学校名は下側1／3とする。
  - エ 書体は太字ゴシック体とする。（明朝または楷書でもよい）
  - オ 文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
  - カ 縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
- ④女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツまたは半袖のレオタードを着用すること。 ※Tシャツのマーキングについては、(公財)全日本柔道連盟が定める規程（平成25年4月1日より施行）に準ずる。
- ⑤柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。
- ⑥胸マーキング等について、道場名等は不可とする。

【例】



14 表彰

(1) 団体戦

- ①優勝校には、賞状・優勝旗・優勝杯・トロフィー・メダルを授与する。優勝旗・優勝杯は持ち回りとし、翌年の大会で返却し、レプリカ・バナーを授与する。
- ②準優勝校・第3位校（2チーム）には、賞状・トロフィー・メダルを授与する。
- ③第5位校（4チーム）には、賞状を授与する。
- ④第5位までの入賞を除く決勝トーナメント進出校（8チーム）に賞状を授与する。

(2) 個人戦

- ①各階級第1位～第3位までの4名に賞状・トロフィー・メダルを授与する。
- ②第5位の4名に賞状を授与する。



15 参加申込み

(1) 申込方法

①参加校及び参加選手は、別紙申込みの手順により、大会申込 Web ページ（下記）に必要事項を入力し、必要書類（入力したものを印刷して1部）及び参加費を揃え各都道府県委員長に提出のこと。

Web ページ [http://niigata-chutairen.jp/zenchu2016\\_judo/](http://niigata-chutairen.jp/zenchu2016_judo/)

※参加費は、各都道府県で一括して所定口座に納付すること。

②各都道府県委員長は、下記書類を全て揃え、第47回全国中学校柔道大会事務局まで送付する。

ア 出場校・出場選手正式申込用紙 1部（学校長と中体連会長実印があるもの）

イ コーチ確認書（学校毎に1部）【様式6】

ウ 引率者・監督者報告書 【様式7】

エ 選手・監督・コーチ ID カード原本（写真貼付済みのもの）

オ プログラムデータ【様式16】（E-mail添付送信及び印刷原本）

カ 都道府県委員長・平成29～30年度開催地視察員・見学者用 ID カード原本（写真貼付）

キ 参加全選手分参加費振込み確認書（金融機関利用明細書添付・コピー可）

★申込期限 平成28年8月4日（木）

※期限厳守 手続き上の不備は、全て委員長対応となる。

(2) 申込先及び連絡先

〒943-0847 新潟県上越市南新町3番3号（上越市立城西中学校内）  
 第47回全国中学校柔道大会 事務局 渡邊 進  
 TEL：事務局直通 070-4066-4512 FAX：025-523-7223  
 E-mail：zenchu.judo2016@gmail.com  
 公式 HP URL：http://niigata-chutairen.jp/zenchu2016\_judo/

(3) 振込先

振込先口座	第四銀行 高田営業部（店番号511） 普通口座 2089516
口座名義	第47回全国中学校柔道大会 事務局 渡邊 進（ワタハシ スム）

(4) 申込必要書類 ※詳細は別紙『大会申込要項』参照のこと。

①大会申込書 1部（15-(1)①大会申込Webページ入力のもの）

②団体戦出場校集合写真 1枚（監督・全選手を撮影したものを委員長に提出）

③選手・監督・コーチ ID カード 各1枚（写真貼付）

④コーチ確認書 1部（必要に応じて）【様式6】

⑤引率者・監督者報告書 1部（必要に応じて）【様式7】

⑥大会参加費 1人につき 3,000円

(5) (公財)全日本柔道連盟登録者は、登録番号を申込書に記入すること。

(6) 各ブロック長は、8月10日（水）までにブロック順位をEメールにて報告すること。

16 諸会議

(1) 審判会議 8月17日（水） 10:00～10:30 『2Fコンサートホール』

(2) 監督会議 8月17日（水） 10:50～11:20 『2Fコンサートホール』

(3) (公財)日本中学校体育連盟柔道競技部会

8月19日（金） 19:30～20:30 『ホテルセンチュリーイカヤ』

17 宿泊

(1) 宿泊については、別紙『宿泊・弁当要項』による。適切な危機管理対応（感染症・自然災害等）を確保するため、必ず大会実行委員会指定の業者を通して申し込むこと。（指定外の宿泊施設の利用は認めない。）

(2) 8月4日（木）までに申し込むこと。また、問合せ等も直接下記に行うこと。

(3) 申込先・問合せ先

〒950-0088 新潟県新潟市中央区万代4-4-27 NBFテレコムビル  
 近畿日本ツーリスト（株）「第47回全国中学校柔道大会・新潟大会」  
 TEL：025-255-1122 FAX：025-247-1211  
 E-mail：niigata-mice@or.knt.co.jp 総合旅行業務取扱管理者；今井清浩

18 その他 (1) 選手変更について

①団体戦

- ア 大会申込書提出後、病気・負傷等で選手変更を必要とする場合は、所定の変更届に必要な事項を記入の上、当該校の校長から理由書を添えて提出すること。
- イ アによる変更届は大会開会式前日までに、当該県の委員長より提出すること。提出先は、大会事務局または大会受付とする。
- ウ 試合当日は、登録選手の交替のみとし、体重順に編成替えをすること。

②個人戦

- ア 大会申込書提出後、選手の病気・負傷等で選手変更を必要とする場合は、所定の変更届に必要な事項を記入の上、当該校の校長から辞退届を各都道府県委員長に提出し、替わりの選手を当該県の推薦により出場させることができる。委員長は大会事務局に文書で報告すること。
- イ 新しい申込書は、監督会議までに、大会事務局に提出すること。それ以後は受け付けない。

- (2) 大会期間中の負傷・疾病等については、応急手当を行う。また、本大会は、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用する。参加者は健康保険証を持参することが望ましい。(健康保険証が無い場合は、保険医療が受けられないことがある)
- (3) 個人戦出場者は、試合終了後、順次、(公財)全柔連主催の体力測定を受けること。
- (4) 同一校から個人戦のみに1名が出場するとき、または2名出場するが体重区分が3段階以上(55kg級と73kg級以上など)の違いがあるときで、練習相手が必要な場合は、選手付添者を1名認める。ただし、試合会場や計量会場には入場できない。(必ず指定のマークを柔道衣の指定箇所に縫い付けること)
- (5) 練習会場、日時は次の通りとする。選手・監督・コーチはIDカード、個人戦付添者は指定のマークが無いものは入場不可とする。

会 場	利用可能者	8月16日(火)	8月17日(水)	8月18日(木)	8月19日(金)	8月20日(土)
上越観光物産センター	当日試合者	12:00~16:00	9:00~16:00	7:50~16:00	7:50~16:00	7:20~16:00
上越市教育プラザ体育館	大会参加者	12:00~16:00	9:00~16:00	7:50~16:00	7:50~16:00	

上越観光物産センターの使用は、当日試合のある選手に限る。

8月16日(火)は、女子団体戦出場者及びその監督・コーチのみ使用可とする。

(受付を済ませ、入口でIDカードを提示すること)

- (6) IDカードを提示しない者は、試合会場への入場を一切認めない。  
※IDカードを配布する範囲は、「選手・監督・コーチ」及び「委員長・視察員・見学者・大会委員・大会役員・審判員」とする。
- (7) 大会についての問合せは、必ず各都道府県委員長を通じ申し出ること。委員長を通しての問合せ以外は、一切受け付けない。
  - ①組合せは、大会当日受付にてプログラムを通じての発表とする。なお、大会ホームページにも掲載する。組合せに関する問合せには一切応じない。
  - ②その他、必要事項については、監督会議において連絡する。なお、監督会議は代表監督(各都道府県4名)が出席するので、出席した監督は連絡を密に取り、内容の周知徹底を図ること。
- (8) 本大会では、大会運営に支障をきたすので、部旗・応援旗は掲示しないこと。
- (9) 大会期間中、健康上の理由等で監督の変更が必要とされる場合、各都道府県委員長を通して、文書にて大会事務局に申し出ること。
- (10) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手の皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができないこともある。
- (11) 脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守する。
  - ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
  - ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急専門医の精査を受けること。
  - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
  - ④大会事務局及び(公財)全日本柔道連盟に、書面により事故報告書を提出すること。